

# 危険な植物

## 豆知識



初夏というのにパツとしないお天気が続きました。夏の7月には太陽を満喫して、外気に当たりたいものですね。是非、緑に囲まれて溜まったストレスを発散させてください。ところで、庭というのは、世の中で一番危険な所だということを自覚していらっしゃいますか？

「きれいな花にはトゲがある」とよく言いますね。か弱いながらもモンスターになりうる植物を見てみましょう。

### ジギタリス (les digitales)



植物全体が毒性を持っています。有効成分を抽出したものは心臓病に効果があると医療に使われていましたが、正確な分量を見出すのが難しく、不整脈の原因となるので、少しずつ使われなくなっています。

### トリカブト (les aconites)



植物全体が毒性を持っていて、少量でも100%死につながります。単に葉に触っただけで、敏感な人は反応します。

### ブルグマンシア (La Brugmansia)



こちらも植物全体が毒性を持っていて、花がとてもきれいでいい香りを放ちますが、絶対に避けるべき植物の一つです。強力な植物毒アルカロイドを作り、心臓を麻痺させます。

### クリスマス・ローズ (Les hellébores)



経口摂取したらやけどをします。また、もし目に入ったら、失明する可能性もあります。

### すずらん (Le muguet)



よく知られていませんが、5月の花すずらんは、毒性の危険な植物で、38種くらいの毒性要素を備えています。すずらんを生けている花瓶の水にも毒が溶け出しますので、子どもやペットには要注意です。

### ロリエ・ローズ (Le laurier rose)



見た目は美しい、でも毒性の植物です。主に胃の障害を引き起こし、時には死を招きます。

### トウゴマ (Le ricin commun)



2007年版ギネスブックで世界一毒性の強い植物に指定されています。種に毒があり、死に至るため庭園の植物としては避けられてきました。

そして、植物の中には動物にとって非常に毒性が強いというものがあります。たとえば、ユリはたとえ少量でもネコを殺すことができます。また、ツツジはネコの神経を麻痺させることができます。

もし、イヌを飼っていらっしゃるなら、チューリップやスイセンは避けてください。イヌが球根で遊び噛んでしまったら、重症の中毒状態になります。

見てきたように、庭は非常に危険な植物の隠れ家となっています。植物を植える前に、それぞれの植物についての知識をしっかりと収集してください。特に小さなお子様をお持ちの方はお気をつけください。

では、皆さん、楽しい夏休みを！

記事作成に当たり、VelvetCaféの協力を得ました。

蘭を中心にブリュッセルでは珍しい品種の植物を扱っています。お店でも手入れ法、肥料のやり方などアドバイスをもらえます。  
VelvetCafé [www.velvetine.be](http://www.velvetine.be)  
Chaussée de Charleroi 161, 1060 Bruxelles  
月 14~18h45、火 - 土 10h30~19h、日休み

\*紙面内表記は、仏語/蘭語の順です。  
1語の場合は両言語共通です。

ベルギー在住主婦を中心に編集・発行されています。  
無断転載・複製を一切禁じます。

\*\*\*\*\*

広告・おち広告の案内は、ウェブサイトをご覧ください。  
記事に関するご意見・ご感想は、メールでお寄せください。  
Tel: 02 376 28 21 (神野宅 9~12h)



PETITS-POIS asbl / vzw Rue Zwartebeek 8, 1180 Bruxelles  
[www.petits-pois.be](http://www.petits-pois.be)  
e-mail : [mail@petits-pois.be](mailto:mail@petits-pois.be)  
20<sup>e</sup> année - mensuel - Ne paraît pas en août  
20<sup>e</sup> jaargang - maandelijkse uitgave - Verschijnt niet in augustus  
Editeur responsable  
Verantwoordelijke uitgever **KANNO Yoko**